

2025-2026 年度 国際ロータリー第 2720 地区

第 41 回 インターアクトクラブ 年次大会報告書



年次大会テーマ

コネクト
～誇れる未来を次へ～

期日：2025年8月2日（土）・3日（日）

会場：日本文理大学 湯布院研修所

主催：国際ロータリー第2720地区インターアクト委員会

目 次

大会プログラム	2
ご挨拶	
ガバナー 藤田千克由	4
地区青少年奉仕部門長 上野 公則	5
インターアクト委員長 横山 茂男	6
大分臨海ロータリークラブ会長 角 裕介	7
大分高校インターアクトクラブ会長 久我さくら	8
活動報告	9
表彰報告	33
グループディスカッションの記録	34
アンケート	36
大会スナップ	39
出席者名簿RC・IA参加校	46
第42回IAC年次大会のご案内	47

〈 第 41 回 インターアクトクラブ年次大会 プログラム 〉

8月2日（土）

12:00～12:55 登録、受付、荷物搬入、会場集合

13:00～13:30 開会式

＜開会式＞

司会（大分高等学校IAC）

1. 点鐘・開会宣言

大分高等学校IAC 会長

2. 国歌並びにインターアクトの歌斉唱

3. 歓迎挨拶

大分高等学校IAC 会長

4. 挨拶

国際ロータリー第2720地区	ガバナー	藤田 千 克 由
国際ロータリー第2720地区	青少年奉仕部門長	上野 公 則
国際ロータリー第2720地区	インターアクト委員長	横山 茂 男
国際ロータリー第2720地区	大分臨海RC(提唱C)会長	角 裕 介

5. 来賓並びに参加クラブ紹介

大分高等学校IAC 幹事

6. 大会日程説明

大分高等学校IAC 幹事

13:35～15:35 活動報告会

15:35～15:45 ローターアクト紹介

RAC地区代表

上野 聖 顕

15:45～15:55 記念撮影

15:55～16:10 休憩

16:10～17:20 アクティビティ（交流行事）

①地元クイズ

②運動 『風船運びリレー』

17:30～18:00 入浴：A・B班、 17:30～18:00 夕食：E・F班(男子)

18:00～18:30 入浴：C・D班、 18:10～18:40 夕食：A・B班

18:30～19:00 入浴：E・F班(男子)、18:50～19:20 夕食：C・D班

※19:00～ 風呂（大人）詳細は風呂食事割り参照

19:30～20:00 クラブミーティング

20:00～20:30 各クラブ会長・幹事会議

20:30～22:00 自由時間

22:00 就寝

8月3日（日）

- 6:30 ～ 7:00 起床
- 7:00 ～ 7:40 A・B・C班は朝食、D・E・F班は部屋の清掃、準備、着替え
- 7:50 ～ 8:30 D・E・F班は朝食、A・B・C班は部屋の清掃、準備、着替え
- 8:55 会場集合
- 9:00 ～ 9:10 2日目開式 日程説明
- 9:10 ～11:00 グループディスカッション・発表
- 11:00～11:20 その他の案内
- 11:20～11:25 次年度大会の案内
- 11:25～12:00 閉会式

＜閉会式＞

- | | | |
|------------|----------------|--------------|
| 1. 活動報告表彰 | インターアクト年次大会 | 実行委員長 小橋 雅之 |
| 2. 総評 | 国際ロータリー第2720地区 | ガバナー 藤田千克由 |
| 3. 閉会の辞・点鐘 | | 大分高等学校IAC 会長 |
- 12:00 解散

国際ロータリー第2720地区
2025-2026年度 ガバナー

藤田 千克由



国際ロータリー第2720地区2025-2026年度「第41回インターアクトクラブ年次大会『コネクト～誇れる未来を次へ～』」の開催にあたり、上野青少年奉仕部門長をはじめ、横山インターアクト委員長ならびにインターアクト委員会各位、そしてホストを務めていただく大分臨海ロータリークラブおよび大分高等学校インターアクトの皆様、これまでの綿密なご準備に対し、深甚なる敬意と感謝を表します。また、本日で参集いただいた各インターアクトクラブの皆様が、一年間にわたり積極的に活動を重ねられた成果によって、本大会が実現したことに心より御礼申し上げます。

インターアクトクラブの設立趣旨は、社会奉仕および国際奉仕の推進、リーダーシップの涵養、友情と協調の精神の育成にあり、進学後や社会人となった後に地域社会の課題解決に貢献できる人材を育てることを目的としています。この目的の達成のためにも、ぜひ他校クラブの活動報告に耳を傾け、それぞれの取り組みに敬意を払いながら、活発な意見交換と交流を深めていただきたいと存じます。その過程で得られる会話や経験が、皆様一人ひとりのさらなる成長へとつながることを、心から期待しております。

本大会が、皆様の友情をさらに深め、未来への大きな一歩となりますことを心より祈念いたします。

国際ロータリー第2720地区
2025-2026年度 地区青少年奉仕部門 部門長

上野 公則



第41回地区インターアクトクラブ年次大会が、多くのご来賓の方々を始め、地区内より多数のインターアクター、ロータリアンのご出席をいただき、盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。また、ホストクラブを務めていただいた、大分高等学校インターアクトクラブ、スポンサーロータリークラブの大分臨海ロータリークラブの皆様方におかれましては、大変な猛暑の中、準備から運営まで担っていただき、大変ありがとうございます。感謝申し上げます。

ロータリーではよく知られている、ロータリーの目的というのがあります。その第1に「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」があります。本大会を通じて多くの方々と交流し、出会いを楽しんでいただきたいと思います。将来に渡って大きな財産に必ずなります。今座っている横の人が、将来大企業の社長や、政治家になっているかも知れません。クラブで、地域で、また全国から海外まで繋がりを築き、インターアクト・ローターアクト・ロータリーと交流の輪を築いてもらいたいと思います。藤田ガバナーの地区スローガン「みんなでつなぐ、育てる、ロータリーリレーションシップ」そのものだと思います。

強く継続的な絆を築いていただきますよう、お願い申し上げ、地区インターアクトの今後益々のご活躍を祈念して、挨拶とさせていただきます。

国際ロータリー第2720地区
2025-2026年度 インターアクト委員長

横山 茂男



本年度、2720地区インターアクト委員会委員長を仰せつかっております横山茂男です。所属は大分臨海RC、ロータリー歴は9年、職業分類はディスプレイ業になります。

まずは今日ご参加のIA生の中には6月にありました指導者研修会に参加された方も多いと思います。その時に他校のIA生と少し交流ができたと思いますが、その時は大分、熊本別々に開催しましたので、今日明日2日間は2720地区 大分、熊本関係なく交流してください。皆さんは学校は違えど世界145カ国、約15,000近くあるインターアクトクラブの仲間です。同じ仲間なのですから、恥ずかしがらず、この2日間で多くの交流をして、これからのIA活動を楽しく、活発にするために何か一つで良いので持って帰りましょう。

そして、藤田ガバナーをはじめご来賓の皆様、顧問の先生、提唱RCの皆様、これから提唱をお考えのRCの皆様、お忙しい中、多数のご参加、また常日頃、青少年奉仕にご尽力、ご協力いただき誠にありがとうございます。IACはIA生が主体となって活動する組織ではありますが、顧問の先生、ロータリアンの皆様の手助けが必要です。顧問の先生、ロータリアンの皆様にも交流していただき情報交換の機会としていただければと思います。そして、この2日間のIA生の姿を見ていただき、これからのIA活動の更なるサポートをお願いします。IA生の皆さん、2日間、大いに学び、楽しんでください。

国際ロータリー第2720地区
2025-2026年度 大分臨海ロータリークラブ会長

角 裕介



国際ロータリー第2720地区2025-2026年度 第41回インターアクトクラブ年次大会の開催にあたり、藤田ガバナーをはじめご来賓の皆様、ロータリアンの皆様、インターアクトクラブの皆様、多くのご参加心より感謝申し上げます。

また、ホストを務めていただく大分高校インターアクトクラブおよびサポートいただいた提唱RCの皆様、企画・準備から会場設営までご尽力いただき誠にありがとうございます。

さて、今回の年次大会テーマ『コネクト』は、「繋ぐ」と直訳し、人と人との友情や情報などで結びつくこと、信頼関係を築く・コミュニケーションを深めるという意味で使われます。

本大会での活動報告やグループディスカッションで多くの学びや気づきが得られると思います。1つでも多くの良いことを見つけ吸収して今後のインターアクトの活動、さらには皆様の未来、後輩たちの未来に繋げていただきたいと思います。

そして、このように多くの人が集まる機会は1年に何度もありません。学校や年齢の垣根を超えて一人でも多くの仲間と繋がってください。ここでできた仲間の存在は、皆様が将来社会に出たときに大きな財産となり、仕事や生活を良い方向へ導いてくれると思います。

インターアクト生のみなさん、2日間、大いに学び、気づき、そして大いに楽しんでください！

国際ロータリー第2720地区
大分高校インターアクトクラブ 会長

久我 さくら



この度は、国際ロータリー第2720地区 2025-2026年度 第41回インターアクトクラブ年次大会にご参加いただき、誠にありがとうございました。大分県・熊本県のインターアクトクラブの皆さん、ロータリアンの皆様、そして顧問の先生方にお会いできましたことを、大変嬉しく思います。

本大会のテーマは「コネクト～誇れる未来を次へ～」でした。このテーマには、人と人とのつながりを大切にし、そのつながりを未来へと受け渡していきたいという願いが込められています。人との結びつきは時を超えて広がり、地球に残された限りある資源を守りながら、地球温暖化や人口問題といった大きな課題に向き合う力を与えてくれるものだと思っています。そして、その取り組みの積み重ねが、より誇れる未来を次の世代へとつなぐ原動力になると考えています。

ホスト校として、この大会を開催するにあたり、準備の段階から多くの学びがありました。プログラムづくりや会場設営を通して、仲間と協力し合うことの大切さを改めて実感し、また、大きな行事を成し遂げるためには、一人ひとりの力だけでなく多くの方々のご支援が欠かせないことを身をもって知ることができました。

グループディスカッションでは、地域が抱える課題について真剣に話し合いました。時に難しいテーマもありましたが、他校・他地域のインターアクト生と意見を交わす中で、互いの考え方や地域性の違いに触れることができ、新たな気づきを得られたのではないのでしょうか。こうした体験は、教室の中だけでは得られない貴重な学びであり、今後の活動に大きな刺激を与えてくれるものと思います。

今回の大会が、参加された皆様にとって新しい出会いや成長のきっかけとなり、今後のインターアクト活動をより盛り上げる原動力となれば幸いです。そして、この大会で培われたつながりが今後も続き、そこから次の時代を切り拓く力が生まれることを心より願っております。

最後に、本大会にご参加くださった皆様をはじめ、提唱ロータリークラブである大分臨海ロータリークラブの皆様、大会の準備・運営にご尽力くださったすべての関係者の皆様に、厚く感謝申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

大分東明高等学校

インターアクトクラブ

会 長：小坂 碧音	顧問教諭：首藤 恵子	提唱RC：大分RC
会員数：21名		例会日：不定期

大分東明高等学校インターアクトクラブは1963年12月20日に設立しました。現在、大分ロータリークラブのご支援のもと、3年生7名、2年生10名、1年生4名の計21名で活動しています(兼部可)。友だちや他校のインターアクトと一緒に、楽しみながらロータリーの「超私の奉仕」を学び、奉仕の精神や行動力を身につけています。

2024年の活動は、8月に「24時間テレビ・愛は地球を救う」のチャリティー募金に参加しました。“社会貢献をしたい”“助け合うことが大事”思っただけでも高校生個人でできることは限られています。活動に参加することで、微力ながらも何かの役に立てているという充実感や幸福感を感じることができ、同時に、社会性や創造性を養うことができます。

本年度も奉仕活動を通じてたくさんの方々と交流し、横のつながりを大切に楽しみながら奉仕の精神を学びたいと思います。



国際ロータリー第2720地区 九州4地区合同公共イメージ向上イベント「ONE Q-shu」

ポリオ根絶募金活動

明豊中学・高等学校

インターアクトクラブ

会 長：近藤 祐司	顧問教諭：齊藤 孝志、伊藤 義秀	提唱RC：別府北RC
会員数：30名		例会日：第2・4水曜日

明豊中学・高等学校インターアクトクラブは、学校の部活動として、現在、中学生7名、高校生23名の計30名（男子6名、女子24名）が所属しています。

昨年度から少しずつ活動を再開しましたので、昨年度1年間の活動を報告いたします。

昨年度の主な活動として、

- ①別府市から委託されている、学校前の亀の井バス停周辺の歩道の清掃活動
- ②共同募金活動への参加や災害地域への募金活動の実施
- ③地域で実施している、子ども食堂への補助的な参加
- ④その他、地域や団体が実施しているボランティア活動への参加

を行いました。普段、歩道は綺麗に見えますが、実際に清掃活動を行ってみると意外とごみが落ちていることに気づきました。募金活動は主に別府駅前で行いました。声を出して募金のお願いをすると、地域の方が快く協力してくれ嬉しくなりました。子ども食堂への参加では、元気な小学生と遊び、お世話することで、逆に元氣をもらうことが出来ました。私たちインターアクト部は昨年度に引き続き、「地域奉仕」と「国際理解」という目標を掲げて、活動を行っていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



インターアクトクラブ会員



バス停周辺清掃活動（4月）



歳末たすけあい共同募金



地域子ども食堂

藤蔭高等学校

インターアクトクラブ

会 長：佐谷野 利玖	顧問教諭：梶原 一成	提唱RC：日田RC
会員数：4名 [1年2名 2年2名 3年0名]		例会日：不定期

■【藤蔭高校インターアクトクラブの現状】

3年生3名が卒業して僅か2名の部員となりましたが、4月に新入生2名が入部しました。人数は少ないですがミャンマー地震の支援募金活動など、日田RCのご支援のもと頑張っています。

【令和7年度の主な活動】

■ミャンマー支援 2021年2月～より継続

日田RCがミャンマーに学校を作ったご縁で主にTシャツを送る活動を開始しました。この活動はこれまで24年間続けてきた東南アジア支援物資輸送活動に代わる活動です。校内だけの呼びかけですが、生徒も協力的でTシャツ、ズボン、筆記用具などたくさん集まりました。現在は仕分け、箱積みも終わり、ミャンマーの国内状況をみながら輸送する準備をしているところです。

■ミャンマー地震人道支援募金 2025年6月2日（月）～ [好天日の4日間]

3月28日に起こったミャンマー地震で被災された方を支援するために募金活動を行いました。27,583円集まりました。集まった義援金は日本赤十字を通して被災地に送られます。

■大原八幡宮クリーンアップ清掃活動 2024年12月23日（月）

6年前より地域への恩返しの気持ちで、地元の大原八幡宮の境内周辺の清掃活動を行っています。年の瀬のこの時期に新年を快く迎えられるように頑張りました。

■ペットボトルキャップの回収 2015年～より継続 [11年目]

2015年よりペットボトルキャップ回収を行っています。回収したペットボトルキャップはポリオワクチンに変えられます。校内だけではなく、地域の方々にも呼びかけています。去年は、70Lの袋が15袋程集まっており、約30人分のポリオワクチンになります。

■「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用防止の呼びかけボランティア」 2025年6月21日（土）

日田西部保健所の主催で「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用防止啓発運動」に参加しました。他校との合同の呼びかけで1時間の活動でした。若い世代に薬物利用者が多くなっているとのことで、生徒たちもしっかりと呼びかけ運動をしました。



柳ヶ浦高等学校

インターアクトクラブ

会 長：角井 亜衣	顧問教諭：安部、遠藤、永松、前原	提唱RC：宇佐RC
会員数：43名		例会日：月1回(金曜日)

大きく分けて校内活動と校外活動の2つ活動を実施しています。

校内活動では、「ペットボトルのキャップ」や「コンタクトレンズの空ケース」を集める活動を行っています。ペットボトルのキャップは各クラスに設置してあるBOXに入れてもらい、決まった期間にメンバーで分担して回収しています。集めたキャップは「宇佐市社会福祉協議会」へ毎年3月に寄付していて、昨年度は124.0kg(およそ31人分のワクチン)になりました。コンタクトレンズの空ケースは、校舎の廊下に設置しているBOXに入れてもらったり、家で集めて持ってきてもらったりしています。集めた空ケースは、「ecoプロジェクト」へ毎年12月に寄付していて、昨年度は1.19kg(1190個)でした。

校外活動は、地元のお祭り・子ども食堂・福祉施設でのイベントや餅つき・マラソン大会・コンサート等のお手伝いや海岸や駅の清掃活動、薬物乱用防止キャンペーンや24時間テレビ・ポリオワクチン等の募金活動などいろいろな活動を行っています。

柳ヶ浦高等学校インターアクト部は現在は部員の7割以上が留学生で活動しており、留学生は日本の文化や言葉を学びながら楽しく様々な活動に参加しています。平均すると月に1.5回くらいの活動にはなるのですが、地元の人との交流を大切に活動を通じて少しでも地元に貢献できるようにこれからも頑張りたいと思います。



東九州龍谷高等学校

インターアクトクラブ

会 長：小路 杏菜	顧問教諭：永岡 里香、上野 準子、	提唱RC：中津RC
会員数：23名	自覺礼美子、峰 良美	例会日：毎週水曜日

2024年度

- 7月 年次大会
- 8月 24時間テレビチャリティーキャンペーン（イオン三光）
- 10月 ポリオ根絶チャリティ募金（中津駅）
リレーフォーライフ
- 3月 インターアクト卒業式

2023年度

- 6月 会長・幹事研修会 麻薬乱用防止キャンペーン
- 7月 年次大会
- 8月 24時間テレビチャリティーキャンペーン（イオン三光）
年次大会報告例会
- 9月 文化祭での募金活動
- 10月 ポリオ根絶チャリティコンサート
- 11月 国際ロータリー 地区大会
- 12月 世界エイズデーキャンペーンの学習会と呼びかけ（中津駅）
吹奏楽部定期演奏会での募金活動
- 1月 タイヘグランドシューズを寄付
- 3月 インターアクト卒業式

2022年度

- 4月 タイヘ子ども靴を寄付
- 毎週金曜日 「地域清掃活動 まちづくり推進事業」の取り組みの一環



24時間テレビチャリティーキャンペーン



リレーフォーライフ

福德学院高等学校

インターアクトクラブ

会 長：藤島 彰瑚	顧問教諭：末次 亮太	提唱RC：大分南RC
会員数：9名（3年生1名、2年生8名、1年生0名）	例会日：毎月1回(大分南RCと合同実施)	

みなさん こんにちは！ 福德学院高等学校インターアクトクラブです。現在、本校のインターアクトクラブは、3年生1名、2年生8名の合計9名で活動しています。

始めに『クラブ運営活動』について、本校では、毎月1回、16時～17時に活動しています。主に、ロータリークラブの方々とともに、次月の行事の打ち合わせや意見交換会を中心に実施しています。行事がある時は、月に1回から2回程度外部で活動を行っています。

昨年度の主な活動は下記の通りです。

- 3月…世界自閉症啓発活動のサポート
- 6月…指導者研修会への参加
- 7月…年次大会への参加
- 8月…24時間テレビ募金活動の実施
- 9月…OITAスポごみブロック大会への参加
- 10月…本校文化祭においてフランクフルトの販売
- 11月…大分南ロータリークラブ主催ひとり親家庭サポート行事への参加
- 12月…クリスマス例会の実施

2024年度の活動の中で特に印象に残ったのは、11月17日にうみたまごにて、ひとり親家庭の子どもたちを対象としたうみたまご探検隊として参加させていただいたことです。子どもたちと一緒にうみたまごを回ったり、一緒に折り紙や、クイズ大会をしました。折り紙では、海の動物を折りました。みんなとても集中して上手に折っていました。クイズ大会では海の動物の雑学を基にしたクイズを行いました。子どもたちはみんな賢く、クイズは簡単に正解されてしまいましたが、みんなに大満足していただき、有意義な時間を過ごすことができました。

2025年度は、更に多くの校外活動を行っていきたいと考えています。今後の活動においてはロータリークラブの方々や他校の生徒の皆さんと活動を通して奉仕の心を育むと共に、良い思い出が作れるように取り組んでいきたいと思っています。



大分舞鶴高等学校

インターアクトクラブ

会 長：大澤 一夢	顧問教諭：池邊 良介	提唱RC：大分中央RC
会員数：7名		例会日：不定期

私たち、大分舞鶴高校インターアクトクラブは、現在1年生3名、2年生4名の計7名で学年関係なく協力し合いながら日々活動を行っています。2024年度、私たちは地域奉仕活動および交流活動として以下の5つの活動を行いました。

活動① 被害者支援バザー（10月/セントポルタ中央町）

目的：被害者支援の重要性を理解し、その活動に少しでも協力すること。地域の方々とともに支援の輪を広げる機会として、社会課題について学ぶこと。

内容：バザーでの販売の手伝い

成果：被害者支援活動に協力することで、その意義や必要性を実感することができました。そして、その活動が多くの方々の協力によって成り立っていることを学ぶことができました。

活動② 干支の書奉納（11月/若宮八幡宮）

目的：地域の歴史や文化を大切にし、神社という公共の場の美化に協力すること。

内容：書道部と協力して神社の清掃、書の奉納

成果：神社の清掃と書の奉納という2つの活動を通して、地域とのつながりや異なる部との協力の大切さを実感する機会となりました。

活動③ ポリオ募金活動(12月/大分駅前)

目的：ポリオに苦しむ子どもを少しでも救うため。

内容：募金活動

成果：雨の中短時間の活動となりましたが、呼びかけを行うなどして20,814円も募金してもらうことができました。



活動④ 子ども食堂の手伝い（1、3、5月/滝尾子ども食堂）

目的：子ども食堂の現状を知り、少しでも力になりたいと考えたから。

内容：子どもたちと一緒に活動を楽しむ、宿題を教える

成果：子どもたちとふれあう中で、食と通じたつながりの大切さを感じました。活動を行っていく中で、子どもたちの笑顔を見ることができて、少しでも役に立てたことがうれしかったです。

活動⑤ 舞シューズ（4月/舞鶴高校）

目的：使わなくなった体育館シューズを発展途上国の子どもたちへ届ける。

内容：舞シューズの洗濯、スリランカへ贈呈

成果：靴を届ける活動を通じて、世界の子どもの現状を知ることができた。また、国際協力への関心が高まり、私たちの靴も届けられるよう大事に使っていきたいと思いました。



最後に、今後の課題としては、それぞれの活動の背景や意義についてもっと深くまで考えられるのではないのかと感じた。今後は相手の立場になること・継続してつながることを意識して、より意味のある活動にしていきたい。

大分高等学校

インターアクトクラブ

会 長：安部 綾華	顧問教諭：佐藤伊佐善	提唱RC：大分臨海RC
会員数：34名		例会日：毎月第2木曜日

みなさん！こんにちは♪

私たち、大分高校インターアクトクラブは現在1年生10人、2年生8人、3年生16人の計34人で、協力し合って活動しています。月に一度ある例会で、ロータリーの方々と一緒に、今後していきたいことの話し合いや、活動に向けての準備をしています。

【令和6年度の主な活動】

・ビーチ清掃

7月に田ノ浦ビーチでゴミ拾いを行いました。海開きから2週間ほどが経っていたためか、想像以上にゴミが落ちていました。大きなゴミは少なかったものの、タバコやガムなどの小さいゴミを多く拾うことができました。

・留学生交流会

9月にAPUの留学生の方々と交流しました。日本文化のプレゼンを行い、一緒にけん玉やおはじきを楽しみました。その後梨狩りをし、収穫した梨の一部を子ども食堂さんに寄付しました。

・校内でのペットボトルキャップ回収

学校内でペットボトルキャップ回収を行いました。合計で2kgのキャップを回収することができ、集めたキャップはワクチンになりました。

・イベントの会場設営

大分駅前で行われた「アメリカンフェスティバル」の会場のお手伝いをしました。多くの方が参加され、楽しんでくれたので、私たちにとっても良い経験になりました。

今年度もさまざま企画を行い、活動していきたいです！



竹田高等学校

インターアクトクラブ

会 長：倉原 里咲	顧問教諭：高瀬 文徳	提唱RC：竹田RC
会員数：1年生45名 2年38名 3年30名 計113名		例会日：月1回（別に打合せ日あり）

〔2024年7月～2025年6月までの活動〕

【例会】

- ・竹田ロータリークラブの例会にて、モンゴル派遣の報告を行った。 **【写真1】**

【地域活動・国際奉仕】

- ・通年 ペットボトルキャップの回収を行い、整理し、イオン九州を通してポリオ撲滅活動に参加した。
- ・5月 消防署による救急法講習会実施
- ・6月 インターアクト指導者研修会（大分会場）参加
- ・7月 1年生全員を対象に、外部講師を招聘し、防災学習を実施
- ・7月 七夕竹田こども夜市ボランティア（夜市の催し手伝い）に参加
- ・8月 「East Asia Youth Camp Gathering 2024」生徒2名をモンゴルに派遣
- ・8月 病院・老人ホーム・保育園などに希望者が訪問した。
- ・9月 大分県総合防災訓練参加 **【写真2】**
- ・10月 能登半島被災者応援メッセージ書き
- ・11月 防災避難訓練&防災食体験
- ・12月 全校生徒で、校内と豊後竹田駅を中心に、清掃活動を行った。



【その他】

- ・竹田ロータリークラブ様より、「ロータリーの友」を戴いております。
この月刊誌「ロータリーの友」を読み、クラブ員全員が関心のある記事に目を通し、感想等を寄稿する取組を随時行っています。



写真1



写真2

大分商業高等学校

インターアクトクラブ

会 長：松崎 美桜	顧問教諭：財津 真代、小野由美子	提唱RC：大分東RC
会員数：1年生 12名 2年生 41名 3年生 6名 計 59名		例会日：月1回

◎ 創立：2016年9月9日

【常時活動】 「大分いこいの道」清掃ボランティア…毎月1回土曜日8:30～9:30

【令和5年度】

- 5月 国際ロータリー第2720地区大分第4グループ INTERCITY MEETING
「インターアクトで平和について語ろう！」に参加 ※司会進行&発表
- 6月 国際ロータリー第2720地区インターアクトクラブ指導者研修会に参加
- 7月 国際ロータリー 第2720地区 2023-2024年度
第39回インターアクトクラブ 年次大会をホスト校として主催
- 8月 「防災おおいだ座談会（BOZ）」に参加
24時間テレビ46募金活動学生ボランティアに参加
- 9月 大分東ロータリークラブ たのうらビーチスポーツフェスタに参加
- 10月 令和5年度「高校生防災リーダー養成事業」における県内被災地視察研修に参加
- 12月 令和5年度学校防災出前講座
～災害時非常食としての「ペットボトルで作るピザ」作り～
- 3月 『Light It Up Blue @「100年の樹」2024』プレイベントに参加

募金活動



【令和6年度】

- 5月 赤十字広報イベント「赤十字キッズパーク」に参加
- 6月 国際ロータリー第2720地区インターアクトクラブ指導者研修会に参加
- 7月 国際ロータリー 第2720地区 2024-2025年度
第40回インターアクトクラブ 年次大会に参加
- 8月 インターハイ柔道競技・水球競技ボランティアに参加
- 9月 自殺予防週間における街頭キャンペーンに参加
- 10月 あしなが育英会 街頭募金に参加
- 11月 「フードドライブ」を実施
- 12月 植樹&インターンシップに参加
- 3月 「発達障がい」の啓発のボランティア活動に参加
『Light It Up Blue @「100年の樹」2025』プレイベントに参加

幼稚園ボランティア活動



【令和7年度】

- 4月 あしなが育英会 街頭募金に参加
- 6月 国際ロータリー第2720地区インターアクトクラブ指導者研修会に参加
ポリオ撲滅 街頭募金に参加
- 7月 「防災食をつくろう」&救急救命法講習会に参加
幼稚園でのボランティア活動に参加



岩田学園

インターアクトクラブ

会 長：大塚 瑞姫	顧問教諭：河野 智治、江口 桃子、森竹 未来	提唱RC：大分キャピタルRC
会員数：中2:3名 中3:1名 高1:4名 高2:15名 計23名		例会日：第2・4水曜日



設立7年目を迎えた2025年度のスローガンは「More Challenges, More Smiles」。
上杉茉莉前会長（現高3）を中心に、以下の活動を行いました。

【クラブ運営活動】

◎校内花壇清掃活動 2024年11月20日

背丈ほどの草を引き抜き、鍬で耕し、苗の配置などを自分たちで考え、薄暗くなるまで一生懸命植えて、ハート型のビオラの花壇ができあがりました。土まみれになりながらも、きれいになった花壇を頭に思い描きながら自然と笑顔が生まれていました。苗植え作業に向けての除草作業を通じて、クラブ生の交流を深めながら、外来の方に花や植物を見て楽しんでもらうだけでなく、生徒にも校舎から外に出る楽しさを感じてもらえるように取り組みました。

◎校内クリスマス例会 2024年12月18日 校内 節分レク例会 2025年1月22日

大分キャピタルロータリークラブの活動に倣って、インターアクトクラブでも親睦例会を開きました。開会にあたって、どうすれば楽しんでもらえるかを考えながら、企画・運営の力とホスピタリティを学ぶことができました。親睦で結束された団結力を様々な奉仕活動につなげていきます。また、本校インターアクトクラブでは学期に1回誕生月会を開き、クラブ生の誕生日をお祝いしています。

【国際奉仕活動】

◎2024・2025年度大分第4グループIMプログラム 2024年9月29日

LGBTQについての『嘘をつかずに生きるとは〜クラリネットと共に〜(クラリネット演奏者 講師 倉堀翔さん)』を聴講しました。大分地区にインターアクトクラブを有する高校はいくつもありますが、今年度のIMは唯一本校のインターアクトクラブ(有志の高校生たち)が150名ほどの大人に交じって参加しました。講師の倉堀さんは、クラリネットの分野において優れた実績を残されていて、トランスジェンダー女性であることをご自身から発信されている方です。ご自身の経験をもとにした講話から、嘘をつかずに自分らしく生きることの意義と、そのために必要な社会の変革について学ぶことができました。LGBTQの多様性と受容についてより理解を深めることのできた時間になりました。

◎インターアクトクラブ間の交流活動 2024年10月18日

他校のインターアクトクラブ女子高生の方がRCに支援を受けてフィンランドへ海外留学しました。そのインターアクトクラブ生の方と岩田インターアクトクラブ生がZOOMで日本とフィンランドの距離を超えてつながりました。現地の生活や文化、そして英語学習についてたくさんの意見を交わし合うことが出来ました。

◎ガザ人道危機緊急募金・ポリオワクチン募金 2025年3月22日

前年度に聴講した医師の松本祐二先生による講演「ポリオのない世界を実現するために」から得られた知識をこの活動につなげることができました。募金活動の実施前には、クラブ生みんながガザ地区やポリオについて勉強会を開き、募金ポスターを作成するなど2週間にわたって事前準備に励みました。クラブ生の募金協力のかけ声がだん市街地に響き渡りました。この募金活動が国際奉仕への貢献になれたことが嬉しいです。また、世界で困っている子どもの「平和」「健康」への関心や理解を高めることができました。

【社会奉仕活動】

◎地域清掃活動 2024年10月30日

学校周辺の住宅街の清掃活動を行いました。道行く地域の方と挨拶を交わしながら、キャピタルRCと汗を流した清掃の後には、街並みがきれいになったためだけではない大きな満足感と達成感が生まれました。

◎大分川河川敷清掃活動(大分国際車いすマラソン) 2024年11月9日

大分国際車いすマラソンに出場される選手の方々が練習コースとして利用される大分川河川敷の道沿いで落ち葉清掃と石拾い・ゴミ拾いを行いました。心地よい風を肌で感じながら、他校の生徒さんやキャピタルRCや国交省の方々と楽しみながらも真剣に清掃しました。(国交省大分河川国道事務所さんの公式X(Twitter)でも紹介されました。)

◎餅つき大会 in IWATA 2025年2月2日

インターアクトクラブ餅つき大会を行いました。クラブ生と保護者、本校の寮生、キャピタルRCの総勢約50名が参加しました。今ではあまり行われなくなった日本ならではのおめでたい行事を満喫しました。餅つき大会は、本校インターアクトクラブが創立時から企画があったもので、RCの方々のご尽力のもと、6年越しで実現させることができました。

《地域基盤》 杵 築

インターアクトクラブ

会 長： ー	顧問教諭： ー	提唱RC：杵築RC
会員数：2名		例会日：休会中（会員募集中）

杵築インターアクトクラブ活動報告

杵築インターアクトクラブは2022年11月8日に地域を基盤としたクラブとして正式に結成しました。発足当初から会員が運動部の部活に所属していましたので、例会は部活が休みの水曜日に開催していました。また、会員の大半が3年生だったこともあり、今年の3月に3年生が卒業してから休止状態です。現在、残った2年生2名で仲間の勧誘を行っています。地域基盤のクラブですので、今後は他校にも呼びかけていこうと考えています。

これまでの活動

2023年10月28日	ポリオ根絶募金活動（杵築高校IACと合同活動）
	守江湾海岸線清掃活動（杵築高校IACと合同活動）
12月 9日	青筵神社清掃活動
12月20日	総会・クリスマス会（杵築高校IACと合同開催）
2024年3月10日～5月29日	スリランカの子もたちに文具を！プロジェクト実施
11月29日	ポリオ根絶募金活動（米山奨学生も協力してくれました）
12月17日	総会・クリスマス会（杵築高校IACと合同開催）



ポリオ根絶募金活動

杵築高等学校

インターアクトクラブ

会 長：小田ひより	顧問教諭：平川理絵子、中島 マミ	提唱RC：杵築RC
会員数：33名		例会日：第1月曜日

本校は、3年前インターアクトクラブに加盟いたしました。ユネスコクラブとJRC（青少年赤十字）にも加盟しており、3つの団体に関連する様々な活動をしています。月1度のインターアクトクラブ例会を中心として、生徒主体のボランティア活動ができるように頑張っています。

以下、最近の活動を報告します。

令和5年度 地区インターアクトクラブ年次大会 in 由布院 （7月）
24時間テレビ 愛は地球を救う 募金活動 （8月）
ポリオ根絶募金活動 （10月）
守江湾海岸線清掃活動 （10月）
城下町歩行ラリーボランティア （11月）
能登半島地震募金活動 （2月）
スリランカ出身の杵築RC会員卓話 （3月）

令和6年度 JRC前期連絡協議会 （4月）
杵築市城山いこいの家ボランティア （4月）
スリランカの子どもたちへの文房具収集活動 （6月）
きつきチョビコ夜市ボランティア （7月）
地区インターアクトクラブ年次大会 in 熊本 （7月）
JRC リーダーシップトレーニングセンター （8月）
ユネスコ書き損じハガキ集計活動 （2月）

令和7年度 きつきお城祭りボランティア （5月）
多世代交流フェスタ （6月）

守江湾海岸線清掃活動



スリランカ出身の杵築RC会員卓話



大分県立大分上野丘高等学校 インターアクトクラブ

会 長：今見堂智記	顧問教諭：大村健一郎	提唱RC：2720JapanO.K. REC
会員数：15名		例会日：第1、第3水曜日

大分上野丘高校インターアクトクラブは2720JapanO.K.ロータリーEクラブのもと、昨年度の4月より活動を開始しました。現在は第1、第3水曜日の月2回活動をしています。

《2024年7月～2025年7月までの主な活動》

【2024年度】

- 8月 第44回七夕まつり 七夕飾り付けコンクール出品 奨励賞受賞
ロータリアン（大人）に向けて授業
3年生を送る会（BBQ）
- 9月 ポリオ講義
- 12月 クリスマス家族会 ロータリアンとの交流
子ども食堂訪問 交流

【2025年度】

- 3月 動物愛護センター訪問 大分さくら猫プロジェクトへの寄付、施設見学
ひまわり食堂へフードドライブ、調理手伝い
わくわく広場 お仕事体験の手伝い、ポリオ募金
- 6月 指導者研修会参加
ローターアクト認証伝達式参加
- 7月 ヴェルスパマンガアニメスタジアム参加 児童養護施設への募金とバザー

《今後の活動について》

今年度6月に初の常時活動として校内の清掃活動を行う予定でしたが、雨天が続いたため活動できませんでした。次回は10月後半に実施する予定です。

また、昨年度参加させていただいた七夕まつりの飾り付けを今年度も参加させていただきます。



秀岳館高等学校

インターアクトクラブ

会 長：橋本 結	顧問教諭：深堀 弘子、前田 彩花	提唱RC：八代RC
会員数：16名		例会日：第2水曜日

私たち、秀岳館高等学校インターアクト部は、現在男子10名女子6名の合計16名で活動しております。平日（火）～（金）は、図書室に集まって、次の活動の話し合いや、学校の雑用を行っています。休日は、地域から依頼されたボランティアに参加しています。昨年度から今年度は、キッズフェスタで誘導案内や、会場整理、幼児がお仕事体験をするサポートはじめ多くの活動に参加しました。様々な趣向が凝らされたイベントの中で、八代市立図書館で行われた図書館マルシェでは、昔あそびをする子どもたちのサポートをしたり、リーディングトラッカーを作成したりしました。リーディングトラッカーはこのような道具があることを知りませんでしたし、識字障害がある人にもこのようなちょっとした工夫で読書を楽しむことができるのだと知りました。毎年夏に行われる、24時間テレビ街頭募金では、初めてイオンなどの商業施設ではなく、八代宮の鳥居の前で街頭募金を行いました。空調設備がない場所だったため、八代のボランティア協会の方々が熱中症にならないようにと頻繁に声をかけてくださいました。大型商業施設がない時代、多くの方が訪れた八代アーケード街の近くで行っていた募金活動の原点についてスタッフの方が教えてくださいました。

地域の活性化につながる活動を通して、多くの方が高校生の力を必要としていることがわかり、今後もいろいろな活動に参加していきたいと思うようになりました。



水俣高等学校

インターアクトクラブ

会 長：徳富 剛樹	顧問教諭：斉藤 由依、篠倉 明雄	提唱RC：水俣RC
会員数：13名		例会日：指定なし

私たち、水俣高校インターアクトクラブは、男子9名、女子4名の計13名で活動しています。活動は毎週の水曜日に行っております。主な活動として校内の清掃活動や学校周辺のゴミ拾いを行っています。水俣ロータリークラブの方々とは、「自分たちがどのような活動をしていきたいのか、その活動を行っていくためにどのようなものが必要なのか」を相談しています。今年度は5月31日～6月1日に開催された水俣市の祭りである「恋龍祭」では、子どもたちにアイスを作る体験ブースを出しました。さらに手作りでうちわを作りブースに来てくださった方々に配りました。当日はたくさんの方が来てくださり、子どもたちもとても楽しそうだったので嬉しかったです。

また、インターアクトクラブの生徒で芦北支援学校との交流学習を行いました。交流学習では芦北支援学校の生徒の皆さんに手話で挨拶をしたり、一緒にレクリエーションをして楽しんだり、支援学校の生徒の皆さんと「ともだちがいっぱい」という歌を一緒に歌って楽しみました。支援学校の生徒の皆さんと楽しい時間を過ごせたので良い経験になりました。今年も芦北支援学校の生徒さんとの交流学習があります。緊張していますが、支援学校の生徒さんを楽しませることができるよう頑張りたいと思います。加えて、今年は24時間テレビの募金活動を行うことになりました。今回初めて参加する活動なので、精一杯頑張っていきたいです。そして今年は、今まで行っていた活動に加えて、水俣ロータリークラブの方々との交流機会や新しい活動も増やしていく予定です。水俣高校インターアクトクラブが、今までよりもさらに発展するように部員全員で頑張っていきたいと考えています。



玉名女子高等学校

インターアクトクラブ

会 長：吉田 桃華、村上 愛唯	顧問教諭：鏡 育代、山口 裕徳	提唱RC：玉名RC
会員数：23名		例会日：毎月第2木曜日

玉名女子高等学校 活動報告

1. 玉名市役所が設置している花壇の手入れに取り組んでいます。
草取りをしたり、花の苗を植えて地域の方々に楽しんでもらっています。
2. ペットボトルのキャップの収集
3. 使用済み切手の収集
4. 24時間テレビチャリティ募金

今年から会員も増え、活動の幅を広げたいと考えています。



有明高等学校

インターアクトクラブ

会 長：藤本 博也	顧問教諭：山下 理沙	提唱RC：荒尾RC
会員数：14名		例会日：審議中

① インターアクトクラブの学校内での活動内容

主に、体験入学、入試、入学式、体育大会、看護科の戴帽式、卒業式などの学校行事でお見えになった来賓の方々の接待や受付、案内を行ったりします。また、花壇の除草・植栽を行ったり、積極的に地域ボランティアへの参加を行っています。

② キャップ収集・キャップ数え

昨年度は、有明高校には校内にペットボトルのキャップ収集ボックスが設置されていました。

キャップがある程度集まったら、部員と顧問の先生と一緒に洗い個数を数えていきました。普段捨ててしまっているゴミでも、ポリオワクチンとなり世界中の子供たちを助けることができます。

昨年度以降は、キャップはプラスチックごみとして回収されることになり、この活動は終了となりました。

③ 花壇の草取り、花植え

学校前の花壇の草取りや花植えを行います。この活動は、私たちの住んでいる町、荒尾市の活性化やそこに住む人々の居心地の良さを目的として実施しています。

花植えをするのは大変ですが、きれいになっていく花壇を見るととてもやりがいを感じ、心が癒されます。

④ 老人ホームでの秋祭りボランティア

屋台の手伝いや撤去、プログラムの参加、地域の方々との交流を行いました。

小さなお子様からご年配の方まで、様々な年齢層の方々が参加され、賑わいを見せていました。

また、本学校の太鼓部の演奏もあり、より一層華のあるお祭りとなりました。

入居者や職員の方々にとても喜んでいただけました。



熊本国府高等学校

インターアクトクラブ

会 長：上宮田 蓮	顧問教諭：川合 由美、松本 幸大、	提唱RC：熊本南RC
会員数：43名	佐藤 優妃	例会日：不定期

私たち、熊本国府高等学校インターアクトクラブは、現在1年生18人、2年生10人、3年生15人の計43人が所属しており、毎週水曜日の校内活動を中心に熊本県内の様々なボランティア活動に参加しています。

校内活動で力を入れているのは「エコキャップ活動」で、ペットボトルキャップ入れを各教室に配置し、集まったキャップを部員が洗浄、年度末に就労支援センターへ搬入しています。今年度は約80kgのキャップを回収することができました。

また、何らかの理由で学校に通うことが難しい小・中学生と、その家族を対象とした「支援交流会」を昨年度も校内にて開催し、レクリエーションやゲームを通して楽しい時間を共有することができました。参加して頂いた小・中学生、その保護者の方々にも大変喜んで頂き、今年度も実施しようと計画しています。

熊本県内の活動としては、熊本城マラソンにもインターアクトクラブ生を含む本校生徒約160名がボランティアスタッフとして参加し、ジャンパー仕分けや名札づくり、沿道整理、太平燕の提供など様々な活動を行いました。熊本城マラソンに参加するランナーの方々に大変喜んで頂き、貴重な経験とすることが出来ました。

また、「オハイエくまもと とっておきの音楽祭」に毎年熊本南RCの方々とボランティアで参加し、イベントの運営、補助のお手伝いをさせて頂いています。

この他にも、ユニセフ主催の「アフリカの子どもの日」にて、アフリカの留学生と互いの文化や歴史問題などについて学び、交流するといった国際的な行事にも毎年参加しています。

今後も私たちにできることを考え、実践していきたいと思います。



専修大学熊本玉名高等学校

インターアクトクラブ

会 長：内田 桃愛	顧問教諭：内村、尾方、田中	提唱RC：玉名中央RC
会員数：30名		例会日：毎月第1火曜日

私たち専修大学熊本玉名高校インターアクトクラブは1年生8名、2年生9名、3年生13名の計30名で活動しています。活動日（例会日）は毎月第1火曜日です。4月にインターアクトクラブ生の希望調査を行い、今年度はたくさんのクラブ員が集まりました。昨年は14名と今年の半分の人数でしたが、エコキャップ回収、（ポリオワクチンに替える活動）、使用済みカイロの回収（環境保全）、体育館シューズの寄付（発展途上国への寄付）、不要なタオルやひざ掛けの回収（保健所に収容されている動物への寄付）、農業体験（地域再生型農業の学習）、24時間テレビチャリティー募金活動、花しょうぶ祭りの運営ボランティア、本校文化祭でのバザー（フェアトレードの販売）等、様々な活動を行うことができました。どの活動においても、「自分たちの活動が誰かの役に立っている」という気持ちを忘れずに行うことができました。今年度もこの活動に加え、学校の先生方が使っているホワイトボードマーカのカートリッジを回収、洗浄し、リサイクルをする活動や、校内でのSDGsの呼びかけ（活動のアピール）等を行っていきたいと思っています。また、その活動を通して様々な人との交流を楽しんだり、学びを深めたりしていきたいです。玉名中央ロータリーの方々にもご協力いただき、これまで以上にたくさんの活動ができればいいなと思っています。玉名中央ロータリークラブの方々いつもありがとうございます。この年次大会でも、たくさんのインターアクトクラブ生と交流できることが楽しみです。どうぞよろしくお願いします。



八代白百合学園高等学校

インターアクトクラブ

会 長：大岩 莉佳	顧問教諭：吉田 有志	提唱RC：八代東RC
会員数：31名		例会日：月1回（日時は都度決定）

八代白百合学園インターアクトクラブは、八代東ロータリークラブや地域の方々のご協力のもと、地域に根ざした活動を主として行っています。

例年行っている活動としては、「井上町見守りボランティア」「井上町花いっぱいプロジェクト」などがあります。

「井上町見守りボランティア」は、毎月第1・3金曜日の朝7時半から8時までの30分程度、近隣小中学校の通学路に立って子ども達の安全を見守るという活動です。「見守り隊」と称し、本校IACが発足以来続けている活動です。交通安全週間には、八代警察署の方々と協力して、近隣駅の自転車の鍵掛けの呼びかけなども行いました。

「井上町花いっぱいプロジェクト」は、本校校門前及び近隣の八代駅構内にプランターを設置し季節の花の苗を植える活動で、街の景観の美化に少しでも貢献したいという思いで続けています。駅の利用者や登校する生徒達を、花々と一緒に明るくお出迎えすることができています。

昨年度からは、新しい活動として子ども食堂ボランティアも行いました。クリスマスには、お菓子の詰め合わせを準備してプレゼントしたり、クリスマスツリーのペーパークラフトを一緒に作ったりと、地域で開かれている子ども食堂に来てくれた子ども達と楽しい時間を過ごすことができました。また、夏祭りや周年記念の行事など、各子ども食堂のイベントにも参加させていただきました。子ども達の笑顔が思い出に残る活動で、これからも継続して行っていきたいです。

また、今年度は八代南ロータリーが主催された台湾IACとの交流会にも参加しました。本IACでも、オンラインでの交流を以前に行いましたが、対面での交流会は初めてだったので、貴重な体験をさせていただくことができました。今年度末には、こちらから台湾を訪問することも予定されています。国際交流の機会も、これから増えてくると嬉しいです。

その他、今後の計画としては、野菜収穫、学習支援、絵本の読み聞かせなどを予定しています。野菜収穫は以前も行っていた活動ですが、今回はキッチンカーでの調理も行われる予定です。学習支援、絵本の読み聞かせに関しては、初めての活動です。ご協力をお願いする関係機関を見学させて頂く等、現在準備を進めている段階です（6月末現在）。有意義な活動となるように、一生懸命に取り組んでいきたいです。

今後も積極的に様々な活動に取り組み、活発なクラブにしていきたいです。



天草工業高等学校

インターアクトクラブ

会 長：山田 凜	顧問教諭：田崎 孝文、中村友光子	提唱RC：天草RC
会員数：14名(1年生2人、2年生4人、3年生8人)		例会日：毎週水曜日

【社会奉仕活動】

○まちはみんなの遊園地

毎月第3日曜日に天草Asovivaプロジェクトの皆さんと一緒に、地域の商店街を子どもたちが楽しく過ごせる遊園地としてイベントを開催しています。

私たちはモルックやボッチャ、シャボン玉などで来場してくれた子どもたちと交流をしています。その他にも、綿菓子の販売やポリオ撲滅運動の一環としてペットボトルのキャップの回収を呼びかけたり、来場した子どもたちと一緒に遊んだりしています。本年度は地域で開催されるお祭りや天草子どもフェスティバル2025等にも参加しました。

【SDGs活動】

○コンタクトレンズ空ケースの回収運動

コンタクトのeyecity様が取り組まれている「コンタクトのアイシティ ecoプロジェクト」に参加しています。校内の各階の廊下に回収boxを設置し、学校全体で活動を行っています。ケースの売却代金は日本アイバンク協会へ寄付されます。

○“届けよう、服のチカラ”プロジェクト

ユニクロ・GUが行う参加型学習プログラムに参加しました。服のチカラについて学び、服を本当に必要としている人々(難民)の現状を教えていただき、難民の子どもたちへ服を届けるため、サイズアウトした子供服の回収を呼びかけました。近隣の小学校にも趣旨を説明して協力していただきました。

【国際理解活動】

○ポリオ撲滅運動のためのペットボトルキャップ回収

年間を通してペットボトルキャップの回収活動を行っています。集めたキャップは洗浄・乾燥をして、イオン天草店に持っていき、リサイクル業者へ渡して頂いています。そこでの売却費用はポリオワクチンの購入費用として寄付されています。



やつしろ

インターアクトクラブ

会 長：三藤 希実	顧問教諭：吉岡 紳一	提唱RC：八代南RC
会員数：14名		例会日：第1、第3木曜日

やつしろインターアクトクラブは2020年に設立しました。現在、八代南ロータリークラブのご支援のもと、2年生9名、1年生4名、中学生1名の計14名で活動しています。

昨年度の活動内容は6月に田んぼラグビー、7月にしらぬい保育園キッズナイトフェス、11月に八代スポーツデーなど地域のイベントに参加し、地域の皆さまと協力するなかで、連携の大切さやつながりの強さを実感できる活動となりました。また、3月には台日交流を行い、台湾の方々とともに清掃活動や交流を通して、それぞれの文化や日常生活を知ることのできる貴重な経験となりました。

そのほかにも、常時活動として月に1回の清掃活動や、月に2回の小学生を対象とした「放課後ピアサポート」（児童が安心でき、自己存在感や充実感を得られる居場所づくりを目的とした勉強会）を実施しました。これらの活動を通して人と人とのつながりを強く実感することができ、とても有意義なものとなりました。ロータリアンの方々の支えのもとでこれらの活動を継続して行うことができ、とても感謝しています。

本年度は、昨年度から行っている定期的な活動を行うだけでなく、外国にルーツを持つ子どもたちや、更に多くの小学生との交流を増やしたいと考えています。昨年度から学んだことを踏まえて活動の幅を広げ、沢山の皆様と交流し、楽しみながら活動していきたいと思ひます。



しらぬい保育園キッズナイトフェス



台日交流事業



奉仕の日、清掃活動



放課後ピアサポート

熊本学園大学付属高等学校

インターアクトクラブ

会 長：原住 莉央	顧問教諭：柴 李紗	提唱RC：熊本RC
会員数：10名		例会日：不定期

私達、熊本学園大学付属高校インターアクトクラブは、現在2年生男子1名、女子9名の計10名で協力して活動しています。活動内容は、こども食堂の支援、江津湖の藻刈りなどです。

昨年度は、ロータリークラブの方や本校ボート部部員の協力を得て、江津湖の藻刈りを行いました。江津湖では外来種の水草が大量に発生し、在来の生き物への悪影響などさまざまな問題を引き起こしています。藻刈りをする事で、江津湖の環境改善に少し貢献することができました。また、この際に新聞社の取材を受け、インターアクトの活動を世間に広げることになりました。

今年度は、現メンバーで活動内容を話し合い、こども食堂の支援を行うことにしました。本校と縁のある白山こども食堂と陽だまりの樹の代表に伺ったところ、市などの補助金を活用しても生鮮品を購入する資金集めに苦労しているということでした。そこで、校内と市街地で募金活動を行うことにしました。こども食堂の現状を伝えるポスターを制作し、それを掲げて学校内で2日間募金を呼びかけた結果、11,970円が集まりました。今後は市内中心部で2日間募金を募ります。集まったお金は、上記の2つのこども食堂に食材購入費として寄付します。また、こども食堂で小・中学生に勉強を教える活動を行う予定です。



表彰報告

18の年次大会参加クラブの活動内容報告を、各項目5段階評価して頂き、クラブごとのミーティングにてベスト3クラブを選出させていただきました。

①奉仕活動への積極性……………	国際奉仕・社会奉仕などの活動内容について
②クラブ全員の取り組み……………	インターアクター全員での協調性について
③活動内容の工夫……………	アイデア性について
④発表の行い方……………	資料作成、発表の仕方について

第41回インターアクトクラブ年次大会：IAC活動報告の評価（ベスト3クラブ選出の結果）のまとめ
選出数の多かった上位3クラブの評価内容をまとめてみました。（順不同）

◎大分商業高等学校IAC

- ・奉仕活動への積極性が良かった。
- ・幼稚園のボランティアと防災食を自分たちで作る取り組みが、なかなかないボランティアで印象に残った。
- ・幼稚園訪問に行かない人も準備に取り組んでいた。
- ・フードドライブという案はとても良く、参考にしたいと思いました。
- ・総合的にすべてすごかった。活動内容も発表もすごかった。
- ・資料の作りこみと発表者の声がよく聞こえて、特に印象に残った。
- ・参加した人数や何をしたかなどをスライドに書いていて見やすかった。
- ・話し方や時間配分が上手だった。
- ・発表の声が聞き取りやすく、スライドが見やすかった。

◎熊本国府高等学校IAC

- ・たくさんの外国人との交流など、説明がとても分かりやすくはっきりしていた。
- ・海外交流が盛んで良かった。
- ・活動内容の幅が広い。
- ・活動のアイデアが参考になる。
- ・唯一無二の活動を行っていた。
- ・発表の際、活動で学んだことを具体的に述べていて良かった。
- ・スライドの作り方が上手だった。

◎やつしろIAC

- ・国際的な活動、発表の行い方。
- ・募金以外にも、海外の留学生の交流が参考になった。
- ・活動のバリエーションが豊富。
- ・スライドの統一感があった。
- ・話し方が自然で、聞き取りやすかった。
- ・聞き取りやすい声で抑揚もあり、聞き手がわくわくするような話し方だった。

グループディスカッションの記録

第41回インタラクト年次大会：グループディスカッションのまとめ テーマ「自分たちの地域の課題を解決しよう！」

本大会では、メインテーマ「自分たちの地域の課題を解決しよう！」のもと、8つのサブテーマについて各2グループに分かれてディスカッションを行いました。グループごとに活発な意見交換が行われ、最後には全体に向けて発表を行いました。以下に、その概要を記載します。

①医療不足

地域によって医師が都市部に集中し、過疎地域や離島で不足している現状が指摘されました。診療科ごとの偏りも課題となっており、病院の減少や医師の高齢化、医療従事者の負担増加も問題視されました。解決策として、医師・看護師の学費無償化や過疎地勤務での給与加算、ローテーション制度、オンライン診療の活用などが提案されました。

②商店街の活性化

来街者の高齢化や空き店舗の増加が課題とされました。若者が利用できるカフェやカラオケなどの店舗づくり、世代を超えた交流スペースの設置、SNSや映像による宣伝、定期的なイベント開催、商店街の清掃活動など、地域の魅力を高める取り組みが必要とされました。

③交通の便

交通手段の不足や渋滞、運賃の高さなどが問題に挙げられました。解決策として、道路拡張や公共交通本数の見直し、自動運転や乗合タクシーの導入、シニア向け交通費の軽減などが検討されました。高校生自身が募金活動などで改善に関心を持ち続ける姿勢も確認されました。

④空き家対策

所有者の高齢化や管理不足により、景観悪化や防災リスク増加が懸念されました。空き家をリノベーションして交流拠点や仕事場、宿泊施設などに活用する案、SNSを通じて地域の魅力を発信し移住促進につなげる案が提案されました。行政と地域住民が協力して仕組みを改善することの重要性も共有されました。

⑤政治への関心

若者の政治離れが大きな課題とされました。関心を高めるために、自分で調べたり、実際に投票や演説に行くこと、SNSや動画でのわかりやすい情報発信、学校教育での政治学習の導入が提案されました。さらに、インタラクトクラブが小中学生向けに授業を行い、政治への理解を広げる取り組みの可能性も示されました。

⑥ITの普及

高齢者や地方でのIT利用の遅れが課題とされました。小学生からITに触れる機会を増やすこと、メディアリテラシー教育、スマホ講座や専門家による講演、通信環境の整備が求められました。医療や交通への応用も議論され、便利さとリスク管理の両立が重要との意見が出されました。

⑦教育格差

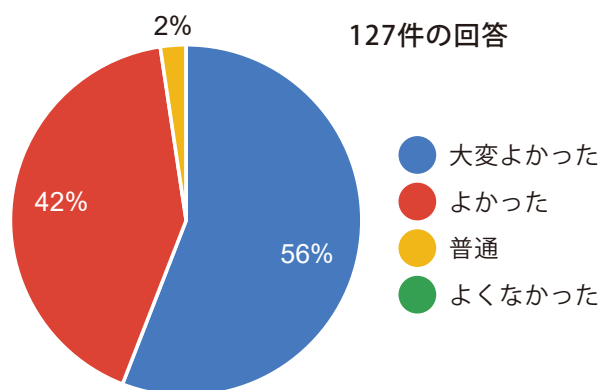
地方では学校や塾・専門教員が不足し、都市に比べて進路や情報の機会が限られ、経済的理由や不登校も学びの機会を制限していることが課題とされました。解決策として、募金と行政協力による教育機関整備、保護者への情報提供や奨学金制度の充実、タブレット学習やスクールカウンセラー、学習支援ボランティア・交流会など環境・メンタル面の支援が提案され、親の収入に左右されない教育環境づくりの重要性が確認されました。

⑧県外への人・産業の流出

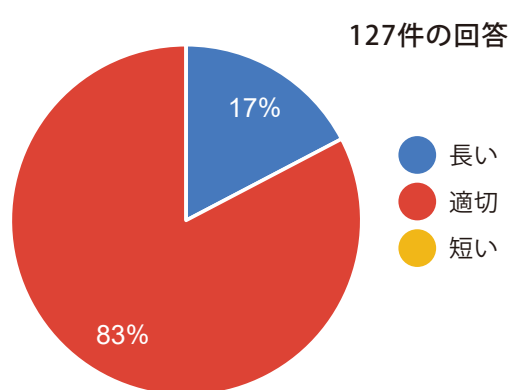
雇用機会の不足や子育て環境の課題から人口流出が起きていることが共有されました。解決策として、子育て支援の充実、地元企業や産業の魅力発信、観光資源の活用、交通インフラの改善、最低賃金の引き上げなどが提案されました。成功事例として豊後高田市の子育て支援が紹介され、地域全体の活性化につなげる重要性が確認されました。

アンケート

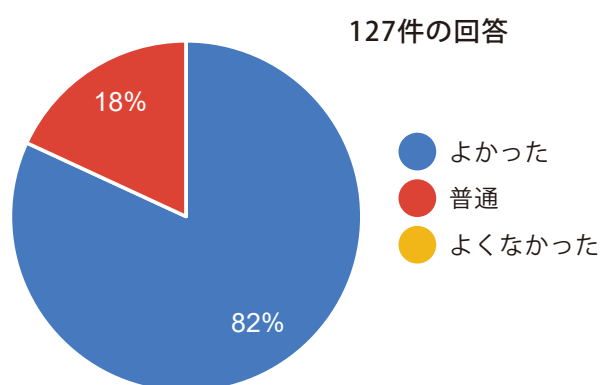
Q 今回の年次大会のプログラム
や内容はどうでしたか？



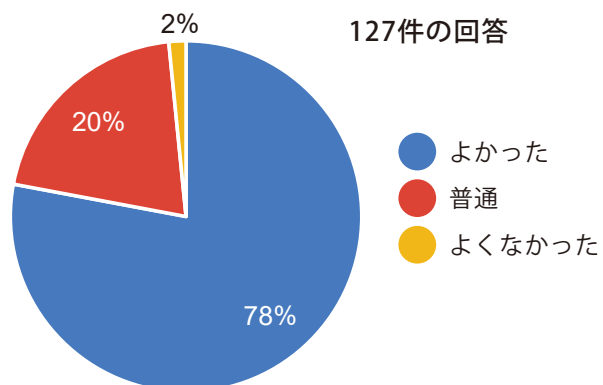
Q 活動報告発表の時間設定は
適切でしたか？



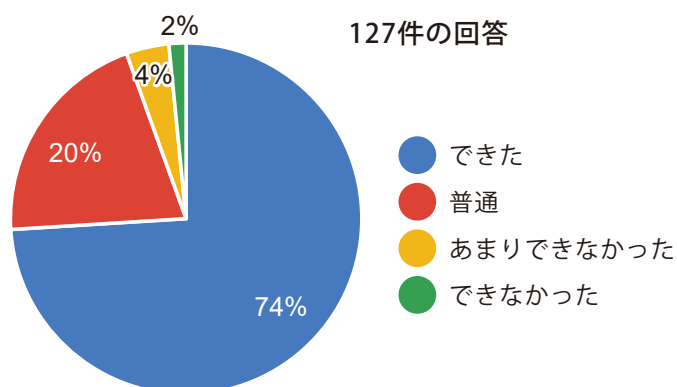
Q 交流活動について



Q ディスカッションの進行や
内容について



Q 他校のインターアクトクラブの人と交流を深めることができましたか？
ロータリアンの方は顧問の先生や他の提唱クラブと交流が出来ましたか？



Q 今回の年次大会での学びや感想を教えてください 〈※一部抜粋〉

1. 初めて会う他校の人達と交流をすることで、自分では出なかった意見を聞くことが出来たり、仲良くなれたりしてとてもいい学びになりました。そして、活動報告での発表ではいい経験になりました。
2. 他校との交流を通していろんな見解や価値観考え方を知れた。またやってみたい活動も見つけることができた。
3. 他校との交流は最初こそあまり会話をしませんでした、些細な事から共通の話題を見つけ、楽しく会話をする事が出来ました。また、自分達がした事のない、知らなかった活動やイベントもあり、とても勉強になりました。
4. 今回初めて参加しました。知らなかった活動を知ることが出来てとても良かったです。この経験を自分の高校に持って帰り、アイデアを広げ自分達ができる範囲で精一杯頑張りたいと思います。
5. もっとたくさんの活動をすべきだと思った。
6. どのような活動をしたらいいか分からなかった、他の学校の活動報告を聞いて良かった。
7. 友達がいっぱい増えてインスタも交換しました。
8. 他校の先生との情報交換ができた。
9. それぞれのインターアクトによって活動内容が違ったので新鮮でした。
10. 色々な学校の活動の様子を知ることが出来てインターアクト活動の幅広さに関心を深めることが出来た。
11. 他校の方との親睦の深め方や、具体的な考え方を学ばせていただき勉強になりました。1日目の交流を通して2日目の学びに繋がったと思います。
12. 今回初めて年次大会に参加し、人見知りが見目に出ることをとても心配していましたが、みんな暖かく接してくれたおかげでとても有意義な時間になりました。
13. 今回の年次大会で自分たち以外の高校はどんなことをしているのかを知ることができたので良かったです。
14. 自分の学校が行えていない取り組みを行っている学校が多くあり、いい刺激になった。
15. 他県との違いや他の学校での活動を知れてよかった。
16. 様々な学科のインターアクト生の交流が新鮮で楽しかった。
17. 色々な活動を沢山知れて次の活動に生かして行ければいいなと思いました。
18. これからのインターアクトの活動に参考になりました😊
19. 他校の人と交流できたし、他の学校の取り組みを知れて良かったです。
20. 1年に1回しか交流できないのは悲しいので、普段からもっと交流の機会が欲しいです。
21. 色々なロータリオンに会えて色々なお話ができて良かったです。
22. 他校の活動内容や県外の学校がどのような活動をしているのかを知ることができ自分たちのクラブでも実行していきたいと思いました。また、様々な人との交流ができ楽しむことができました。
23. 他のインターアクトさんの活動や同じ活動でも違った内容だったりして新しい学びになりました。
24. 県外のインターアクト生と関わる機会は滅多になく、貴重な体験ができました。
25. 年次大会で各地域のインターアクトがどのようなボランティア、活動を行っているかが把握できた。新しい活動を知る機会となった。
26. とてもいい学びとなりました。ありがとうございました。
27. 各クラブで様々な取り組みを行っていて、ユニークな活動内容などが参考になりました。
28. 各校の取り組みを知れて良かったです。生徒同士でも交流がよくなされていて安心しました。アクティビティ等、交流行事の時間がもう少し長くても良かったように思います。
29. 他校の様々な取り組みを聞くことができ、今後の活動の参考になりました。
30. 各校のプレゼンは一つのデータにまとめられたのでしょうか？スライドデザイン(色合い)が送付したデータから変わってしまいました。発表するインターアクト生がびっくりしていました。たぶんデータを一つにする際に、元となったプレゼンのテーマに影響を受けたのだと推測します。元データを運営側でいじる際は、発表前に発表者に確認をするか、いじった側が元データと相違ないかの確認をする必要があると思います。
31. 初めての年次大会でしたがとても刺激的で有意義な時間でした。
32. 色々な人の意見を聞いて自分の視野を広げることができた。
33. 部屋に行く前に沢山の荷物があって持ち運ぶのが難しかった。
34. どのような活動をしたらいいか分からなかった、他の学校の活動報告を聞いてよかった。
35. グループディスカッションでの他校との交流をすることができてとても良かった。
36. 学生の活気を見ることができて良かった。
37. 自分とは違う環境の人たちと会話をして新しい見方を知れた。
38. 他校さんの活動報告を聞くことができ、自分たちにはまだまだ沢山の活動ができるんだなと感じました。
39. 身近にあったものがリサイクルできるということを知り、私たちのクラブでも実践したいと思います！
40. 違う学校と色々な交流ができて楽しかった。

Q 年次大会の開催場所や時期についてご意見をお願いします 〈※一部抜粋〉

1. いいと思う。
2. 湯布院が涼しかったから快適だった。コンビニなどが近くになくて不便だった。
3. 7月中に行くことでオープンキャンパスなどの日程と重ならないようにしてほしい。
4. オープンキャンパスとかぶっていたので、オープンキャンパスが行われていない時期だと嬉しい。
5. 適切。
6. エアコンがあれば、現在の開催時期で動きやすいかと思います。

7. 少し遠かった。
8. 暑くなりすぎる前くらいの時期がいいと思います。
9. 今回のような形でいいと思います。
10. 7月後半 海の近く。
11. 夏休み中。
12. 適切な時期と場所だと思う。
13. 3年生は大学受験があるので、8月上旬で次回は熊本開催でもいいと思いました。
14. もう少しWiFiが強いとこで少し涼しいところがいいです。
15. 夏はとても暑いので秋頃だと過ごしやすいかと思えます。

Q 今後の年次大会でどのようなことをしたら良いと思いますか 〈※一部抜粋〉

1. 交流活動を引き続き行なってほしい。
2. もっと他校との関わりを増やす機会があった方がいいと思います。
3. ゲームを入れて欲しい。
4. 2校1組になって、どんな活動をしているのかや、雑談をしたりする。
5. もう少しアクティブな活動。
6. 楽しいこと。
7. 他校の子ともっと仲良くなれる活動を増やして欲しい。
8. 全体テーマを設定し、それに関する基調講演などを行うと統一感が出ると思います。
9. 他校との交流イベントを増やす。
10. 生徒の交流を増やすゲームをしたい。
11. 他の学校と交流。
12. 他のインターアクトクラブともっと話したりできるような企画をした方がいいと思います。
13. 7月開催。熱中症対策として体育館は使用しない。クラブミーティングやアクティビティのため、大研修室が2～3部屋ある施設がよい。阿蘇や湯布院のように朝夕は涼しい場所がよい。詰め込み過ぎないスケジュールリング。消灯後は部屋でも静かに過ごすアナウンスを。2～3時と深夜遅くまで、早朝から騒がしくて近くの部屋は寝られなかったそう。
14. スポーツ交流をしたいです。
15. パーティ。
16. もっと他校の人たちと交流できることがあるといいと思いました。
17. 他校との交流活動。
18. 男女及び、同じ高校の生徒と一緒にする比率を見直し。他校との交流も大事とはいえ、一人の男子と五人の他校の女子のグループだと、私のような人は会話が難しいと感じます。
19. このような感じでいいと思う。
20. 今回の年次大会の活動は全て良かったので、特に増やすべき活動などはないと感じました。
21. もっと他校の人と楽しくかわりいろいろな事を学んでいったらいいと思います。
22. ローターリーのお話を聞く。
23. 他校との交流時間を多くして欲しいです。
24. もっと交流を増やしたいです。
25. そのままで大丈夫だと思う。
26. これまで同様に他校の生徒との交流を深め、自分の知らなかった活動を知ることができたらとても良いなと思います。
27. 報告。
28. 共同制作等、生徒同士で協力して行う活動があってもいいように思いました。
29. ディスカッション
30. もっと他校やロータリアンとの方の交流が欲しい。
31. アクティビティでもっと体を動かしたい。
32. スポーツ交流。
33. 交流活動を増やす。
34. もう少し交流の時間が欲しいと思った。
35. もう少し交流がしたい。
36. 現在の進行でも満足。
37. 今のままで良いと思います。
38. 他校の人と話す時間ももっと増えたら良いと思いました。
39. タブレット等持ちの学校も多くなっているようですので、ディスカッションした内容をまとめて発表でもよろしいのかと思いました。
40. 2日目のディスカッションで、課題解決に向けてインターアクトで何ができるのかについてもう少し具体的に考えたいと思いました。できればですが、風船運びリレーよりも体を使う運動をしたいです。

大会スナップ

● 開会式



●活動報告会





● アクティビティ



● グループディスカッション





● 次年度大会の案内



● 閉会式



〈来 賓〉

国際ロータリー第2720地区

ガバナー

パストガバナー

パストガバナー

ガバナーエレクト

ガバナーノミニー

青少年奉仕部門長

藤田 千克由

小山 康直

膳所 和彦

延岡 研一

芳崎 一郎

上野 公則

〈参加校〉 インターアクト設立順

〈大分〉

- 1 明豊高校IAC
- 2 柳ヶ浦高校IAC
- 3 東九州龍谷高校IAC
- 4 福德学院高校IAC
- 5 大分舞鶴高校IAC
- 6 大分高校IAC
- 7 大分商業高校IAC
- 8 岩田学園IAC
- 9 杵築高校IAC
- 10 大分上野丘高校IAC

〈熊本〉

- 11 秀岳館高校IAC
- 12 玉名女子高校IAC
- 13 有明高校IAC
- 14 熊本国府高校IAC
- 15 専修大学熊本玉名高校IAC
- 16 八代白百合学園高校IAC
- 17 天草工業高校IAC
- 18 やつしろIAC

〈参加提唱RC〉 インターアクト設立順

〈大分〉

- 1 大分RC
- 2 別府北RC
- 3 日田RC
- 4 宇佐RC
- 5 中津RC
- 6 大分南RC
- 7 大分中央RC
- 8 大分臨海RC
- 9 大分東RC
- 10 大分キャピタルRC

- 11 杵築RC
- 12 2720 Japan O.K. REC

〈熊本〉

- 13 八代RC
- 14 荒尾RC
- 15 熊本南RC
- 16 玉名中央RC
- 17 八代東RC
- 18 天草RC
- 19 八代南RC

〈参加非提唱RC〉

- 1 大分城西
- 2 大分 OliOli
- 3 別府
- 4 人吉
- 5 宇土
- 6 人吉中央

〈参加RAC〉

- 1 別府 RAC
- 2 八代 RAC

第42回IAC年次大会のご案内



ホスト校 熊本国府高等学校IAC

提唱RC 熊本南RC

2026年7月26日（日）開催予定

インターアクトの目標

1. 建設的な指導力を養成し、自己の完成を図ること。
2. 他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること。
3. 家庭と家族の重要性に対する認識を涵養すること。
4. 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと。
5. 個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、さらには団体としての業績を上げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であると強調すること。
6. すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること。
7. 地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること。
8. 国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として、進むべき道を切り開くこと

インターアクトの歌

作詞・作曲：藤山 一郎

ここに集いしわれらは
誇りも高しインターアクト
地域社会に奉仕の理想
示せ今こそ そのまこと
ほほえみをもて さしのべよ手を
世界を結ぼう インターアクトわれら

期	日：2025年8月2日（土）・3日（日）
会	場：日本文理大学 湯布院研修所
主	催：国際ロータリー第2720地区インターアクト委員会
ホストクラブ	：大分高等学校インターアクトクラブ
提 唱 R C	：大分臨海ロータリークラブ
